

2012 年度 CTVCーカトリック東京ボランティアセンター 活動報告

1. 2012 年度の動き

2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災を受け、未曾有の大災害による被災者・避難者の支援のため、東京教区から JLMM（日本カトリック信徒宣教者会）事務局や真生会館のボランティアがいち早く仙台教区に入り、協力を始めた。東京教区は JLMM、真生会館とともに支援活動を継続的に行うため、4 月 24 日にカトリック東京ボランティアセンター（CTVC）を開設、フランシスコ会の協力を得て、フランシスコ会聖ヨゼフ修道院内（東京都港区六本木）に事務局を設置し、被災地ボランティアの募集、派遣、物資支援などを開始した。CTVC 事務局は 8 名のボランティアにより 5 月 6 日に事務局を開設。事務局業務を日替わりで担当した。後に 3 名をパートタイムスタッフとして雇用した。

2011 年 6 月以降、宮城県南部と福島県全域での活動を開始。2012 年度も福島県福島市、白河市、南相馬市、福島県から首都圏に避難されている母子の支援、宮城県亶理郡での活動を続けた。被災地域や避難地域で自主的に支援活動を実施しているカトリック松木町教会、カトリック白河教会、カトリック原町教会、カトリック亶理教会や NPO（きらきら星ネット、東京）などのグループと連携し、物資支援の呼びかけや「ボラパック」（数日間のボランティア企画）を通じたボランティア参加などの支援活動を実施した。また、福島県内外で自主的に支援活動を実施している小教区、グループの情報共有、エンパワーメントを目的とした「福島ブロック会議」を定期的実施し、連携を図った。2012 年 12 月には仙台教区サポートセンター福島デスクが開設され、その立ち上げ支援を行った。また被災地全域のベースへの短期・長期ボランティアの募集・選考・オリエンテーション・派遣を行った。

2012 年 6 月に開設した「カリタス原町ベース」を拠点に、ボランティアを受け入れ、南相馬市鹿島区の社会福祉協議会と連携し、がれき撤去などのボランティア活動や地元の支援団体と連携し仮設住宅でのカフェサロンを実施した。

被災地、特に福島の現状を広く伝えるための講演会「シリーズ～福島から語る～」を年 6 回実施。福島県内外から講演者を招き、メディアでは伝えられない現実が語られ、多くの学びの場となった。

CTVC ニュースを東京教区の全小教区、修道会に発送。月間報告を関係諸団体へ発行した。活動紹介パンフレットを作成し、広く頒布。活動の周知を図った。各種活動報告会、活動説明会、連絡会などを行い、被災地の現状を伝えるとともに協力を呼びかけた。また CTVC 専用のホームページを開設、メーリングリストを作成するなど、情報の共有を図った。

2012 年 9 月にはカリタスジャパンより活動資金の援助を受けた。また、個人・団体より多額のご支援をいただき、CTVC の活動の拡充を図ることができた。

2. 各地活動

(1) 宮城県亶理郡

亶理町および山元町にて「ボラパック」を催行し、仮設住宅集会所でのカフェや地域の住宅等

のがれき撤去作業を行った。また、カトリック亶理教会、NPO 法人亶理いちごっこ、おてら災害ボランティアセンター、山元町震災復興土曜日の会と連携し、地域の活動やイベントに参加した。仙台教区滞日外国人支援センター主催のフィリピン人被災者を対象としたヘルパー2級講座の運営支援、ボランティア派遣も行った。

<ボラパック>

ボラパック開催回数：8回

ボランティア総数：94名

- ・ **第3回ボラパック（企画型・真生会館カトリック学生センター）**
日程：2011年5月2日～5月5日
場所：山元町おてら災害ボランティアセンター活動地（5/4）
ボランティア人数：10名
- ・ **第4回ボラパック（企画型・聖心会有志）**
日程：2012年6月16日～6月17日
場所：亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所（6/17）
参加者数：約30名
ボランティア人数：6名
- ・ **第5回ボラパック（企画型・カトリック雪ノ下教会中高生会）**
日程：2012年8月3日～8月6日
場所：山元町おてら災害ボランティアセンター活動地（8/4）
亶理町公共ゾーン仮設住宅第2集会所（8/5）
参加者数（8/5）：約40名
ボランティア人数：22名
- ・ **第6回ボラパック（企画型・目黒星美学園中学高等学校）**
日程：2012年8月10日～8月12日
場所：亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所（8/11）
参加者数：約70名
ボランティア人数：15名
- ・ **第7回ボラパック（公募型）**
日程：2012年10月6日～10月8日
場所：山元町東田（北）仮設住宅集会所（10/7）
参加者数：約25名
ボランティア人数：11名
（ボラパック3名、原町5名、亶理教会2名、山元町1名）
- ・ **第8回ボラパック（公募型）**
日程：2012年11月23日～25日
場所：亶理町公共ゾーン仮設住宅第1集会所（11/24）
参加者数：約20名
ボランティア人数：3名（ボラパック0名、原町3名）

- ・ **第9回ボラパック（企画型・目黒星美学園中学高等学校）**

日程：2013年3月22日～25日

場所：公共ゾーン仮設住宅第1集会所（3/22）

参加者数：約30名

ボランティア人数：19名

- ・ **第10回ボラパック（企画型・聖心女子学院教員有志）**

日程：2013年3月28日～30日

場所：亶理町公共ゾーン仮設住宅第2集会所（3/29）

参加者数：約20名

ボランティア人数：8名

<物資支援>

- ・ 2012年11月、おてら災害ボランティアセンターの支援要請を受けて、ねずみ駆除グッズの寄付をブログ・メールリストで呼びかけた。

<その他>

- ・ 2012年10月～2013年2月、仙台教区滞日外国人支援センター主催のヘルパー2級講座での日本語指導補助のためスタッフ・ボランティアを派遣した。（丸森町、亶理町、角田市）
- ・ 2012年10月～山元町震災復興土曜日の会の定例会に参加した。（山元町）

(2) 福島県福島市

2012年度も引き続き「ボラパック」としてボランティアや炊き出しチームを派遣、浪江盆踊り大会、温泉ツアーやクリスマス会、餅つき、お正月、初釜など季節のお祝い事などを中心にイベントを実施。計26回のボラパックを実施した。

<ボラパック>

ボラパック開催回数：26回

ボランティア総数：601名（現地ボラ265名、CTVC336名）

参加者（受益者）総数：795名

- ・ **第11回ボラパック**

日時：2012年4月13日～4月15日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：約25名

ボランティア人数：現地ボラ6名、CTVCボラ8名

炊き出しチーム：カトリック松戸教会15名

- ・ **第12回ボラパック（お花見）**

日時：2012年4月19日～4月21日

場所：福島市内花見山等

参加者数：40名

- ボランティア人数：現地ボラ 6 名、CTVC ボラ 19 名
- ・ **第 13 回ボラパック（浪江焼きそば大会）**
日時：2012 年 4 月 27 日～29 日
場所：宮代第一仮設住宅集会所
参加者数：約 40 名
ボランティア人数：現地ボラ 26 名、CTVC ボラ 19 名
 - ・ **第 14 回ボラパック**
日時：2012 年 4 月 27 日～29 日
場所：宮代第一仮設住宅集会所
参加者数：約 25 名
ボランティア人数：現地ボラ 6 名、CTVC ボラ 18 名
 - ・ **第 15 回ボラパック（バーベキュー）**
日時：2012 年 5 月 25 日～27 日
場所：宮代第一仮設住宅集会所
参加者数：40 名
ボランティア人数：現地ボラ 6 名、CTVC5 名
炊き出しチーム：カトリック碑文谷教会 13 名
 - ・ **第 16 回ボラパック（フルーツと琴のコンサート）**
日時：2012 年 6 月 8 日～10 日
場所：宮代第一仮設住宅集会所
参加者数：約 15 名
ボランティア人数：現地ボラ 8 名、CTVC ボラ 6 名
 - ・ **「花いっぱいキャンペーン」ボラパック**
日時：2012 年 6 月 19 日
場所：宮代第一仮設住宅集会所
参加者数：30 名
ボランティア人数：現地ボラ 2 名、CTVC ボラ 5 名、日本家庭園芸普及協会 5 名
 - ・ **第 17 回ボラパック**
日時：2012 年 6 月 28 日～30 日
場所：宮代第一仮設住宅集会所
参加者数：40 名
ボランティア人数：現地ボラ 6 名、CTVC ボラ 11 名
炊き出しチーム：松戸教会 12 名
 - ・ **第 18 回ボラパック（ふれあい茶の湯とサックスコンサート）**
日時：2012 年 7 月 19 日～21 日
場所：宮代第一仮設住宅集会所
参加者数：35 名
ボランティア人数：現地ボラ 10 名、CTVC ボラ 10 名

- ・ **第 19 回ボラパック（花火大会と夕食を囲む会）**
 日時：2012 年 7 月 28 日～30 日
 場所：「花火観覧席・ラジオ福島」および宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：40 名
 ボランティア人数：現地ボラ 4 名、CTVC ボラ 10 名
- ・ **第 20 回ボラパック（夏祭り）**
 日時：2012 年 8 月 16 日～18 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：65 名
 ボランティア人数：現地ボラ 22 名、CTVC ボラ 18 名
- ・ **第 21 回ボラパック（敬老会）**
 日時：2012 年 8 月 30 日～9 月 1 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：27 名
 ボランティア人数：現地ボラ 9 名、CTVC ボラ 6 名
- ・ **第 22 回ボラパック**
 日時：2012 年 9 月 7 日～9 月 9 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：20 名
 ボランティア人数：現地ボラ 7 名、CTVC ボラ 12 名
 炊き出しチーム：雪ノ下教会
- ・ **第 23 回ボラパック**
 日時：2012 年 9 月 28 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：27 名
 ボランティア人数：現地ボラ 9 名、CTVC ボラ 6 名
- ・ **第 24 回ボラパック**
 日時：2012 年 10 月 11 日～13 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：40 名
 ボランティア人数：現地ボラ 6 名、CTVC ボラ 10 名
 炊き出しチーム；田園調布教会 5 名
- ・ **第 25 回ボラパック**
 日時：2012 年 10 月 25 日～26 日
 場所：宮代第一仮設住宅集会所
 参加者数：25 名
 ボランティア人数：現地ボラ 5 名、CTVC11 名
- ・ **第 26 回ボラパック（芋煮大会）**

日時：2012年11月9日～10日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：30名

ボランティア人数：現地ボラ13名、CTVCボラ11名

炊き出しチーム：カトリック碑文谷教会17名

・ **第27回ボラパック**

日時：2012年11月24日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：20名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ8名

・ **「花いっぱいキャンペーン」ボラパック**

日時：2012年11月27日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：25名

ボランティア人数：現地ボラ2名、CTVCボラ2名、日本家庭園芸普及協会5名

・ **第28回ボラパック（クリスマス）**

日時：2012年12月15日～16日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：45名

ボランティア人数：現地ボラ24名、CTVCボラ11名

・ **第29回ボラパック（餅つき）**

日時：2012年12月27日～28日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：30名

ボランティア人数：現地ボラ16名、CTVCボラ11名

・ **第30回ボラパック（小正月）**

日時：2013年1月19日～20日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：30名

ボランティア人数：現地ボラ11名、CTVCボラ4名

炊き出しチーム：カトリック雪ノ下教会14名

・ **第31回ボラパック（初釜）**

日時：2013年2月15日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：16名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ6名

・ **第32回ボラパック（温泉ツアー）**

日時：2013年2月23日～24日

場所：飯坂温泉「大鳥」

参加者数：25名

ボランティア人数：現地ボラ2名、CTVCボラ11名

・ **第33回ボラパック（ひな祭り）**

日時：2013年3月2日～3日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：25名

ボランティア人数：現地ボラ29名、CTVCボラ7名

炊き出しチーム：ヌヴェール会＋カトリック松原教会

・ **第34回ボラパック**

日時：2013年3月15日

場所：宮代第一仮設住宅集会所

参加者数：15名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ5名

<物資支援>

- ・ 2012年8月、東京教区・横浜教区の小教区、修道会の協力を得て、宮代仮設住宅への夏祭りのための浴衣の支援を行った。
- ・ 2012年12月、越冬のための除雪機の支援を行った。

<その他>

- ・ 2013年1月12日 慈生会の支援を受け、カトリック松木町教会の教会学校の児童と家族を対象に日帰り保養遠足を実施した。

(3) **福島県白河市**

2011年9月の「白河みみずく」との出会いから1年8ヶ月が経過した。

白河みみずくグループは毎週火曜日の午後、傾聴活動を中心に地道な活動を続けている。6名のメンバーで活動を続けて来たが、メンバーの一人が病気で活動が出来なくなったため白河担当のスタッフ3名が2012年9月から、第1週から3週にかけ、交代で白河に赴き、傾聴活動に参加している。

震災と原発事故から2年が経過し、傾聴活動にも深化が求められている。

- ① 郭内仮設住宅（双葉町住民のみ）では、長い仮設生活による生活疲れ、ストレスによる心的・肉体的不調などに加え、災害復興住宅、慰謝料、賠償問題など先に進まず、人々は希望が持てない八方塞がりの状態を強いられている。
- ② 上記のような状況の中、人間関係にも軋轢が生じている。
- ③ 白河みみずくは、仮設住民がストレス、行政への不満などを安心して心置きなく発散できる場所としてのカフェ開設、また将来的には、非日常（仮設）から日常への生活ステップへの移行準備としての宿泊場所を計画中である。

- ④ 白河みみずくは白河市内の中田仮設住宅と郭内仮設住宅で活動を行っているが、市内や近郊から避難した人々が多い中田仮設は、入居者が新生活を始めるために退去し、櫛の歯が欠けたような状況にある。残された中田仮設の白河市民には、双葉町民のような経済的支援がないので、仕事を失った人、病気などで仕事ができない人は蓄えもなくなり、電気を止められるなど、貧困状態に陥っているとの報告がある。

ボラパック開催回数：4回

ボランティア総数：92名（現地ボラ 31名、CTVC 61名）

参加者（受益者）総数：170名

・ **第3回ボラパック（お花見）**

日時：2012年4月23日～4月24日

場所：小峰城趾公園

参加者数：約50名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ13名

・ **第4回ボラパック（夏祭り）**

日時：2012年8月3日～8月4日

場所：郭内仮設住宅

参加者数：100名

ボランティア人数：現地ボラ5名、CTVCボラ18名

・ **第5回ボラパック（農協祭）**

日時：2012年11月2日～4日

場所：JAしらかわ

参加者数：？

ボランティア人数：現地ボラ6名、CTVCボラ20名

・ **第6回ボラパック（ひな祭り）**

日時：2013年3月3日

場所：中田グラウンド仮設住宅集会所

参加者数：20名

ボランティア人数：現地ボラ10名、CTVCボラ10名

(4) 福島県南相馬市（カリタス原町ベース）

① 福島県南相馬市の状況

2011年9月30日、「緊急時避難準備区域」が解除され、県外、市外へ避難した人々が戻るように南相馬市原町区にも応急仮設住宅の建設が始まり、学校も元の校舎で再開された。

2012年4月16日、警戒区域再編により原発より10km圏の小高区まで立ち入りが可能となった。しかし、対象住民の帰宅は自由にできるものの、居住することはできない。

② 福島県南相馬市での活動

2011年度の南相馬市における活動は、カトリック原町教会の支援や福島市内の応急仮設住

宅へのボラパック実施時にあわせて視察を行うことが中心であったが、積極的にボランティアや視察の受け入れを行うとともに、被災者・住民と密接にかかわっていくため、2012年4月より準備をすすめ、2012年6月1日南相馬市原町区青葉町に「カリタス原町ベース」を開設した。

2012年度におけるカリタス原町ベース開所までの南相馬市での活動は、福島市内の宮代応急仮設住宅へのボラパック開催時に南相馬市を訪問、視察案内を行った。また、カトリック原町教会で、主日や聖週間の典礼に参加するなど、信徒との交流を深めた。

2012年4月16日に警戒区域再編により、原発から10km圏の南相馬市小高区への立ち入りができるようになり、同区中心地や沿岸への視察・案内を行った。

2012年5月より南相馬市鹿島区にある寺内第1応急仮設住宅での活動も開始。同仮設住宅集会所で「やっぺ南相馬」が実施する「真こころカフェ」の活動への参加を始めた。

「真こころカフェ」では、集会所に集う仮設住宅住民とお茶を飲みながら交流し、パッチワークや折り紙などの作業を一緒に行うほか、体操の時間をともに過ごした。

③ カリタス原町ベース

約7年前に閉園した保育園舎の一部を借用し、ボランティアの宿泊と活動拠点、視察受け入れ施設となる8つ目のボランティアベースとして「カリタス原町ベース」を2012年6月1日に開所した。

開所式には、南相馬市社会福祉協議会鹿島区福祉サービスセンター所長村上勇一氏に祝辞をいただいたほか、村上氏、カトリック仙台教区平賀徹夫司教、CTVC 責任者幸田和生司教によるテープカットを行った。

ベース長には畠中千秋が就任し、ベース常駐スタッフとして池上あけみが2012年12月まで就任。被災地ボランティアを積極的に受け入れるとともに、長期ボランティアの受け入れも行った。

2012年10月6日より長期ボランティアとして活動していた前田純がベース運営に携わり、さらに10月20日より長期ボランティアスタッフとして山内康嗣が加わりベース運営を行った。

カリタス原町ベース開所後に、全国からの被災地ボランティアの受け入れを開始し、2013年3月末までに延べ約1,000名のボランティアを受け入れ、南相馬市社会福祉協議会が行うボランティア活動への参加や、仮設住宅集会所でのカフェの参加や炊き出し、「花いっぱいキャンペーン」などを実施した。

ボランティアの受け入れとともに、応急仮設住宅への物資支援を行い、冬用布団の支給やマッサージチェアの贈呈仲介のほか、「真こころカフェ」への資金・物資支援の仲介等を行った。

<ボランティア活動内容>

a) 屋外活動

南相馬市社会福祉協議会（社協）を通して依頼される活動を行った。社協では2012年5月中旬からボランティアの受け付けを開始。主な活動場所は南相馬市小高区内である。

参加人数：約 50 名

b) 仮設住宅集会所でのボランティア活動

「やっぺ南相馬」の運営する「真こころカフェ」での活動に参加した。2012 年 5 月から数名のボランティア派遣を行い、活動を開始した。

参加人数：約 100 名

c) ボラパック

ボラパック等の受け入れ、イベントの企画、視察企画を行った。

- ・ **第 11 回福島ボラパック（宮代・原町）** — 被災地視察
日程：4 月 15 日（日）
参加者数：5 名 CTVC スタッフ 5 名
- ・ **第 12 回福島ボラパック（宮代・原町）** — 被災地視察
日程：4 月 21 日（土）
参加者数：14 名 CTVC スタッフ 5 名
- ・ **第 13 回福島ボラパック（宮代・原町）** — 被災地視察
日程：4 月 29 日（日）
参加者数：14 名 CTVC スタッフ 6 名
- ・ **第 15 回福島ボラパック（宮代・原町）** — 被災地視察・仮設住宅訪問
日程：7 月 10 日（日）
参加者数：3 名 CTVC スタッフ：5 名
- ・ **第 16 回福島ボラパック（宮代・原町）** — 被災地視察・仮設住宅訪問
日程：7 月 21 日（土）
参加者数：10 名 CTVC スタッフ：4 名
- ・ **花いっぱいボラパック（原町）**
日程：6 月 27 日（水）～29 日（金） — 被災地視察・仮設住宅訪問
参加者数：寺内第一仮設住宅 約 50 名、 角川原仮設住宅 約 40 名
花いっぱい協会（日本家庭園芸協会） 5 名
CTVC ボランティア参加者 8 名（東京から） CTVC スタッフ 4 名
- ・ **第 21 回福島ボラパック**
日程：8 月 30 日（木）～9 月 1 日（土） — 3 日目 被災地視察・仮設住宅訪問
CTVC ボランティア参加者 7 名 CTVC スタッフ 4 名
- ・ **第 22 回福島ボラパック**
日程：9 月 7 日（金）～9 日（日） — 被災地視察・仮設住宅訪問
CTVC ボランティア参加者 4 名 CTVC スタッフ 4 名
- ・ **第 24 回福島ボラパック**
日程：10 月 11 日（木）～13 日（土） — 3 日目 被災地視察・仮設住宅訪問
CTVC ボランティア参加者 3 名 CTVC スタッフ 3 名

- ・ **日本女子修道女総長管区長会 J P I C 委員会・体験学習下見**

日程：10月15日（月）～17日（水）

南相馬市被災地視察・仮設住宅集会所訪問・やさい配り

参加者数：8名

- ・ **習志野教会影絵グループ**

日程：10月12日（金）～13日（土）

よつば幼稚園、聖愛保育園にて影絵を披露。

参加者：14名

④ 視察受け入れ

カリタス原町ベースで受け入れたボランティアに被災地案内を行ったほか、依頼のあった団体等の視察調整をつぎのとおり行った。

- ・ **カトリック労働者運動 ACO（アセオ）**

日程：6月23日～24日

参加者数：9名

- ・ **第2回全国担当者会議（オールジャパン）**

日程：6月11日～13日

参加者数：14名

- ・ **日本カトリック部落差別人権委員会**

日程：2013年2月23日（土）～24日（日）

参加者数：約20名

⑤ 会議

カリタス原町ベースの運営等のため原町会議等を行った。

原町会議：第1回 日程：2012年10月1日（月）

第2回 日程：2012年12月17日（月）

第3回 日程：2013年2月8日（金）

<その他会議>

- ・ **第三回福島ブロック会議**

日程：6月4日（月）

会場：カリタス原町ベース

参加者数：9名

⑥ 物資支援

応急仮設住宅からの要請等により物資支援の仲介等を行った。

2012年 6月 仮設住宅集会所 ミシン3台を3か所へ

2012年 11月 仮設住宅 冬用布団（敷布団・掛蒲団・毛布）150組

⑦ 諸機関との連携・協働

南相馬市で活動する諸機関と協働し活動を展開したほか、連携を図った。

a) やっぺ南相馬

「真こころカフェ」活動に参加

b) 自立研修施設「えんどう豆」

缶バッジ等の販売活動支援の他、ボランティアを派遣した。

c) 原町区・地域振興市民団体「みんな共和国」

定例会メンバーとして参加。

d) 南相馬復興大学

復興支援被災地ツアーの企画を行った。東京での物産販売活動に参加した。

e) 「みんなの隣組」

精神科医・カウンセラー等のグループ。被災者のケアを支援した。

f) とまとサロン

カリタス原町ベース開設以前よりベース内にて活動を行っていた市民グループ「とまとサロン」の活動に協力した。

g) コロ・エスプレシヴォ

南相馬市鹿島区万葉ふれあいセンターで行われた「お茶っこ歌声コンサート」の実施に協力した。実施日：7月16日（月）

h) みんな未来センター

南相馬市市民グループ「みんな未来センター」の年末年始地域のお雑煮スタンプラリー実施に協力した。

i) コンコルディア

カトリック原町教会の信徒で組織された活動グループ「コンコルディア」と協働し、仮設住宅への二本松の野菜配布やパッチワーク教室などともに行った。

(5) 福島県会津若松市

カトリック会津若松教会では2012年5月より有志を募り支援活動を行うことを決定。その準備を進めてきた。2012年11月より、会津若松市内の県内自主避難家族の支援を開始した。CTVCでは生活用品（消耗品、乳幼児用品等）の支援を首都圏の支援者となぎ、継続的な支援を実施している。また、教会敷地内の施設を開放、物資支援の拠点とし、会津若松市近郊に点在するお母さん達の交流の場となるよう活動を実施。CTVCからスタッフが現地に赴き、月に1回会津若松教会にて、避難母子と支援グループによる情報共有と打ち合わせを実施した。

会津若松市は県内でも比較的放射線量が低く、県内各地から多くの自主避難者（区域外避難者）が避難生活を送っている。放射能被ばくへの不安による避難のため、妊婦や幼い子どもを持つ家族がその殆どで、市内近郊に数百世帯が避難しているといわれている。

避難者は避難区域外で福島県内でも線量が高いとされている福島市、郡山市、本宮市、二本

松市など中通りからが多く、福島県への愛着や経済的な理由、仕事先の関係、家族と一緒に暮らすためなどの理由で県内での避難を選択したケースがほとんどである。

しかし、災害救助法により福島県内避難者には行政、地方公共団体、日本赤十字社からの援助も殆どなく、自主避難者は避難元と避難先での二重の出費により家計に大きな負担を強いられている。また、避難先の公立学校に入学させるためには、住民票を移さなければならず、住民票を移さない場合には、私立学校へ入学させるしかなく、厳しい家計をさらにひっ迫させている。

2012年4月に、自主避難家族の有志が「県内自主避難連絡会（旧 福島県に県内自主避難の権利を求める会）」を立ち上げ、県内自主避難者の権利を求める活動を行うとともに、点在している自主避難家族が集い、悩みや課題を共有できるコミュニティ作りを行っている（現在、約44世帯）。

(6) 福島全般

① 福島県の現状を知るための視察ツアーを実施した。

- ・ 2012年6月16日・17日 ACO（カトリック労働者運動）
- ・ 2012年9月21日・22日 ベトレヘムの園病院
- ・ 2012年10月15日～17日 日本女子修道会総長管区長会生涯養成運営委員会

(7) 東京

① 福島避難母子支援

東京都内の避難世帯支援を行う「きらきら星ネット」に協力し、チャリティデイでの物資支援呼びかけ、金曜さろん、避難世帯訪問、定例ミーティング等の活動に参加した。

<きらきら星ネットのイベント参加>

2012年9月30日	チャリティーコンサート（同仁キリスト教会）
2012年12月2日	六番町くらぶクリスマスコンサート（ニコラ・バレ）
2012年12月15日	クリスマスチャリティデイ（シャルトル本部修道院）
2012年12月28日	ニュースレター発送業務（聖イグナチオ教会）
2013年1月19日	チャリティーコンサート（ニコラ・バレ）
2013年3月10日	きらきら星ネット&田園調布雙葉学園チャリティデイ（ニコラ・バレ）

<物資支援>

- ・ 2012年11月、クリスマスチャリティデイのバザー用品をML、ブログで募集した。
- ・ 2013年2月、チャリティデイのバザー用品をブログで募集した。

<その他>

- ・ 夏休み勉強ひろばボランティアをMLで募集した。

- ・ニコラ・バレでの金曜さろんに参加した。
- ・江戸川区/中野区の都営住宅在住の避難世帯訪問を行った。

②福島の子どもの保養

「リトリートホリデー」はカトリック郡山教会のリゲンザ神父（ドミニコ会）、同じくドミニコ会の渡辺神父と、郡山、関東の信徒により結成。福島県内に在住している子ども達へ屋外で身体を動かし遊べる場の提供、また母親のストレス軽減のため、都内における保養プログラムを企画・実施した。

2012年6月2日～3日 参加者4家族受け入れ

2012年7月22日～24日 参加者3家族受け入れ

③ 3.11 ミサ・祈り

追悼・復興祈念ミサ

日程：2013年3月11日（月）

場所：聖イグナチオ教会

参加者数：約800名

CTVCスタッフ：4名

(8) その他の被災地

仙台教区サポートセンターの各地のベース活動支援のため、短期・長期ボランティアを募集し、オリエンテーション、派遣・活動報告会を実施した。

2012年5月18日～6月8日	長期	大船渡ベースへ
2012年6月11日～6月25日	長期	米川ベースへ
2012年8月1日～8月31日	長期	米川ベースへ
2012年9月25日～10月8日	長期	原町ベースへ
2012年10月3日～10月22日	長期	原町ベースへ
2012年10月6日～11月30日	長期	原町ベースへ
2013年1月26日～2月7日	長期	米川ベースへ

3. 広報

2011年6月より活動報告と、より広い活動の周知のため「CTVC ニュース」を隔週で発行。2012年1月からは「かわらばん！」と改名、月1回の発行とした。また、月間レポートを2011年8月より関係諸団体に向けて発行した。

2012年1月より東京教区ニュースにCTVC連載記事を掲載開始した。

CTVC活動報告パンフレットを作成し頒布した。

4. 報告会・連絡会

東京教区内で支援活動を行っている小教区、修道会、グループの情報共有と連携を深めるため連絡会を行った。また福島の実況を伝えるシリーズ「福島から語る」講演会を年6回実施した。ボランティア報告会や活動説明会を行い、支援活動への協力と活動の周知を図った。

<シリーズ「福島から語る」>

2012年5月14日	CTVC第3回連絡会とシリーズ「福島から語る」講演会
2012年6月22日	シリーズ「福島から語る」講演会
2012年9月29日	シリーズ「福島から語る」講演会
2012年9月29日	第4回連絡会とシリーズ「福島から語る」講演会
2012年12月7日	シリーズ「福島から語る」講演会
2013年1月26日	第5回連絡会とシリーズ「福島から語る」講演会
2013年3月8日	シリーズ「福島から語る」講演会

<その他の活動>

2012年6月9日	震災復興支援チャリティデーに出展参加（聖心女子大学）
2012年7月3日	ボランティア募集説明会（白百合女子大学）
2012年7月28日～29日	第49回カトリック社会問題研究所夏季セミナー講演（真生会館）
2012年8月6日～19日	CTVC活動紹介パネル展示（東京教区平和旬間）
2012年8月15日	CTVC活動紹介・講演（東京教区中央地区平和旬間ミサ）
2012年9月6日	CTVC活動紹介（聖園幼稚園）
2012年9月28日	CTVC活動紹介（レジナ幼稚園）
2012年9月12日～14日	SDSCスタッフ養成研修会に参加
2012年10月13日～14日	CTVC活動紹介・物販（星美短大学園祭）
2012年10月30日	JANICセミナー参加
2012年11月14日	フランスGDF Suez社研修プログラム企画実施（六本木）
2013年3月6日	CTVC活動紹介・講演（田園調布雙葉高等学校）
2013年3月9日	つながろうフクシマ！さようなら原発大集会（明治公園）
2013年3月11日	CTVC活動紹介 東日本大震災追悼・復興祈念ミサ（イグナチオ教会）
2013年3月8日～20日	～311決して忘れない！キャンペーン～に参加団体として参加

5. 会議・スタッフミーティング

(1) 運営委員会

毎月1回、計12回運営委員会を実施した。

(2) スタッフミーティング

CTVC事務局発足後、毎週月曜日にスタッフによるミーティングを行い、活動の報告と今後の活動についての調整、打ち合わせを行った。

(3) 福島ブロック会議

福島県内で活動しているカトリック教会、グループ間で情報共有し、連携を深めていくために福島ブロック会議を実施した。なお、2013年1月以降は、2012年12月に開設された仙台教区サポートセンター福島デスクが主催となって実施。CTVCはそのサポートを行った。実施回数：5回

(4) 原町会議

2012年に立ち上げたカリタス原町ベースの活動についてCTVC全体で話し合う原町会議を実施した。また同じく原町で活動を行うカトリック系コミュニティとの連携・情報共有の場ともなった。実施回数：3回

(5) 外部会議

福島県、宮城県南部で活動する他団体との連携のため、外部団体主催の会議に出席した。

2012年5月20日 南相馬市における地域ワークショップ（南相馬市）

2012年5月21日 会津若松市ボランティア連絡協議会定例会（会津若松市）

2012年5月22日 ふくしま連携復興センター 5月定例会（二本松市）

2012年5月29日 全ベース長会議（仙台市）

2012年7月27日 全ベース長会議（仙台市）

2012年8月30日 「今後の福島支援について」（日本カトリック会館）

2012年9月21日 全ベース長会議（仙台市）

2012年11月28日 JCN 福島現地会議（二本松）

2012年11月30日 全ベース長会議

2013年1月25日 全ベース長会議

(6) 全国担当者会議

2012年6月11日～13日に行われた第2回東日本大震災仙台教区支援全国担当者会議において福島県北地域の視察プログラムを担当。全国会15名の担当者の参加があった。シンポジウムでは漆原事務局長が「これからの福島の支援のあり方」について意見を述べた。

■活動収支報告 2012 年度

(2012 年 4 月～2013 年 3 月)

収 入	(単位:千円)
カリタスジャパン援助金	30,087
一般献金・寄付	11,349
合計	41,436
支 出	(単位:千円)
プロジェクト直接費用	
被災者支援	11,758
原町ベース運営	9,472
物資支援	523
長期ボランティア派遣	375
アドボカシー	734
連携	30
プロジェクト間接費用	
プロジェクト車両費、事務費(通信費、事務機器、文具、人件費など)	8,569
合計	31,461